



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 レオン自動機株式会社
 コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	26,447	34.3	2,108	87.3	2,196	68.6	1,838	47.2
2022年3月期第3四半期	19,691	19.5	1,125	14.1	1,302	15.0	1,248	4.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,599百万円(78.4%) 2022年3月期第3四半期 1,456百万円(34.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	68.58	68.41
2022年3月期第3四半期	46.60	46.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	39,740	30,449	76.4	1,132.91
2022年3月期	36,651	28,377	77.2	1,055.92

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 30,370百万円 2022年3月期 28,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2023年3月期	—	12.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※詳細は、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,100	32.0	2,540	131.0	2,690	83.2	2,190	47.3	81.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※詳細は、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	28,392,000株	2022年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,584,369株	2022年3月期	1,587,157株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	26,807,305株	2022年3月期3Q	26,802,255株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大と鎮静化の流れは続きましたが、行動制限の緩和等により社会経済活動の正常化の動きが見られました。一方で、資源・エネルギー価格の高騰や急激な為替変動が、企業業績や消費者行動に悪影響を及ぼしました。海外経済におきましては、米国では政策金利の引き上げやインフレ進行がありました。景気は底堅く推移しました。一方、欧州ではロシアによるウクライナ侵攻の長期化による経済への影響が顕在化し、中国では「ゼロコロナ」政策は緩和されましたが、経済活動は正常化しておらず、全体的に先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主要市場とする食品業界は、コスト上昇を吸収するために値上げを実施した企業が相次ぎ、エネルギー価格の高騰もあり消費マインドに影響を与える状況になっています。観光の面では国内旅行支援策の実施や外国人観光客の受け入れの再開がありましたが、本格的な回復には至っておらず、観光土産物業界は引き続き厳しい状況が続きました。

当社グループは、食の安心・安全へのニーズの高まりに対応すべく、レオロジー（流動学）を基礎とする独自の開発技術をベースに、安全面や衛生面の機能性を向上させるソフト技術を充実してまいりました。新型コロナウイルス感染症が発生して以降は、経営環境が一段と厳しくなる中で、お客様の省力化・省人化設備の投資需要は世界規模で増加しており、それらのニーズに対応した機械を具現化すべく、全社を挙げて研究開発への取り組みを強化してまいりました。また、部品等の仕入費用や荷造運賃等の販管費の上昇に対応すべく経費節減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は26,447百万円（前年同四半期比34.3%増）、営業利益は2,108百万円（前年同四半期比87.3%増）、経常利益は2,196百万円（前年同四半期比68.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,838百万円（前年同四半期比47.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、食品成形機、製パンライン等、修理その他、仕入商品の売上が増加しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は8,539百万円（前年同四半期比23.2%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は2,613百万円（前年同四半期比50.0%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、修理その他の売上は減少しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比44.3%増加となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが111円10銭から136円51銭と22.9%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は2,763百万円（前年同四半期比77.3%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は、展示会への出展増加など販売費及び一般管理費が増加したことにより、91百万円（前年同四半期比10.8%減）となりました。

食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比6.2%減少となりました。

主な要因は、欧州圏でのインフレ進行やエネルギー問題、国際情勢の悪化による投資控えがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが130円62銭から140円59銭と7.6%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は2,628百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は291百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、製パンライン等の売上は減少しましたが、食品成形機、修理その他の売上が増加しました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は2,178百万円（前年同四半期比3.0%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は647百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジベーカーリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比32.5%増加となりました。

主な要因は、販売価格の見直しや新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復したことによる出荷増加があげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが111円10銭から136円51銭と22.9%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は9,952百万円（前年同四半期比62.8%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は159百万円（前年同四半期はセグメント損失285百万円）となりました。

食品製造販売事業（日本）

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は384百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は光熱費や運送費の高騰により売上原価が増加したことや、展示会への出展増加など販売費及び一般管理費が増加したことにより、34百万円（前年同四半期比40.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,543百万円増加し、22,335百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,835百万円増加、商品及び製品が711百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて544百万円増加し、17,404百万円となりました。これは、前連結会計年度末と比較し、円換算に使用するUSドルの期末日レートが122円39銭から132円70銭、ユーロの期末日レートが136円70銭から141円47銭と大きく円安に推移したため、有形固定資産が311百万円増加、当社ホームページのリニューアル等を行ったため、無形固定資産が9百万円増加、投資有価証券が186百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,088百万円増加し、39,740百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,115百万円増加し、7,390百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が397百万円増加、短期借入金が589百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて99百万円減少し、1,899百万円となりました。これは、長期借入金が148百万円減少、繰延税金負債が45百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,016百万円増加し、9,290百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,072百万円増加し、30,449百万円となりました。これは、利益剰余金が1,302百万円増加、為替換算調整勘定が595百万円増加、その他有価証券評価差額金が145百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の決算発表時(2022年5月12日)に公表いたしました連結業績予想を変更しております。なお、本日(2023年2月10日)付けで「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますので、ご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,000,186	10,186,545
受取手形及び売掛金	2,330,771	4,166,758
商品及び製品	4,474,788	5,186,778
仕掛品	1,675,657	1,692,126
原材料及び貯蔵品	431,829	454,228
その他	903,724	677,566
貸倒引当金	△24,604	△28,208
流動資産合計	19,792,353	22,335,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,340,529	15,846,639
減価償却累計額	△8,077,671	△8,605,539
建物及び構築物（純額）	7,262,857	7,241,099
機械装置及び運搬具	8,516,409	9,049,816
減価償却累計額	△7,112,203	△7,742,678
機械装置及び運搬具（純額）	1,404,205	1,307,138
工具、器具及び備品	1,964,886	2,001,976
減価償却累計額	△1,819,455	△1,850,445
工具、器具及び備品（純額）	145,431	151,531
土地	3,908,191	3,969,037
リース資産	45,286	7,392
減価償却累計額	△44,203	△1,842
リース資産（純額）	1,082	5,550
建設仮勘定	241,252	599,804
有形固定資産合計	12,963,021	13,274,161
無形固定資産	1,237,879	1,247,836
投資その他の資産		
投資有価証券	975,683	1,161,792
退職給付に係る資産	1,454,691	1,509,381
その他	233,886	215,294
貸倒引当金	△5,581	△4,011
投資その他の資産合計	2,658,680	2,882,457
固定資産合計	16,859,580	17,404,455
資産合計	36,651,934	39,740,251

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,143,424	1,540,652
短期借入金	703,678	1,292,992
リース債務	583	2,009
未払費用	594,887	547,051
未払法人税等	422,950	296,078
前受金	1,936,308	2,208,911
賞与引当金	600,348	352,189
役員賞与引当金	2,500	12,600
未払金	643,548	866,993
その他	226,682	271,417
流動負債合計	6,274,914	7,390,897
固定負債		
長期借入金	1,362,927	1,214,385
リース債務	571	4,099
繰延税金負債	204,669	250,288
再評価に係る繰延税金負債	347,009	347,009
資産除去債務	36,266	36,287
その他	48,078	47,613
固定負債合計	1,999,523	1,899,682
負債合計	8,274,437	9,290,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,075,427	7,078,397
利益剰余金	15,579,255	16,881,504
自己株式	△771,143	△770,162
株主資本合計	29,235,289	30,541,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349,537	494,632
土地再評価差額金	△1,692,816	△1,692,816
為替換算調整勘定	245,826	841,651
退職給付に係る調整累計額	166,023	185,742
その他の包括利益累計額合計	△931,429	△170,790
新株予約権	73,636	78,971
純資産合計	28,377,496	30,449,670
負債純資産合計	36,651,934	39,740,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	19,691,211	26,447,524
売上原価	11,483,059	15,731,701
売上総利益	8,208,152	10,715,822
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	92,228	253,388
荷造運搬費	1,146,451	1,611,939
貸倒引当金繰入額	5,556	△861
販売手数料	434,066	642,080
給料及び手当	2,434,690	2,607,428
賞与引当金繰入額	183,115	204,663
役員賞与引当金繰入額	18,370	12,600
退職給付費用	114,334	112,406
旅費及び交通費	231,255	306,532
減価償却費	403,500	401,574
研究開発費	347,030	529,309
その他	1,671,831	1,925,881
販売費及び一般管理費合計	7,082,431	8,606,942
営業利益	1,125,721	2,108,879
営業外収益		
受取利息	2,724	4,718
受取配当金	19,467	21,064
物品売却益	14,980	14,593
為替差益	42,126	4,907
補助金収入	55,446	—
保険解約返戻金	2,287	2,459
電力販売収益	18,153	17,199
その他	53,242	46,923
営業外収益合計	208,428	111,864
営業外費用		
支払利息	10,021	9,757
固定資産売却損	7,321	—
電力販売費用	7,454	6,547
その他	6,456	7,907
営業外費用合計	31,254	24,213
経常利益	1,302,895	2,196,530
税金等調整前四半期純利益	1,302,895	2,196,530
法人税、住民税及び事業税	294,930	352,577
法人税等調整額	△240,897	5,571
法人税等合計	54,032	358,149
四半期純利益	1,248,863	1,838,381
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,248,863	1,838,381

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,248,863	1,838,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,336	145,094
為替換算調整勘定	248,172	595,824
退職給付に係る調整額	16,214	19,719
その他の包括利益合計	208,050	760,638
四半期包括利益	1,456,913	2,599,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,456,913	2,599,020

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症の影響については、ワクチン接種の進捗や治療薬の開発・普及により徐々に収束に向かうことが期待されますが、その時期は依然として不透明な状況です。

当社グループでは、今後も一定程度影響が続くとの仮定を置き、繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損損失計上要否等の会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期やその後の経済状況の回復に関する仮定について重要な変更はありませんが、仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,929,173	1,558,484	2,603,925	2,115,484	13,207,068
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,661,406	26,964	—	—	2,688,371
計	9,590,580	1,585,449	2,603,925	2,115,484	15,895,439
セグメント利益又は損失(△)	1,742,442	102,199	287,112	624,713	2,756,468

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	6,114,144	369,998	6,484,143	19,691,211
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,688,371
計	6,114,144	369,998	6,484,143	22,379,583
セグメント利益又は損失(△)	△285,135	58,118	△227,017	2,529,450

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、イギリス、フランス、アイルランド、イタリア
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾、タイ

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,529,450
セグメント間取引消去	△49,524
本社一般管理費(注)	△1,354,204
四半期連結損益計算書の営業利益	1,125,721

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,539,304	2,763,508	2,628,524	2,178,807	16,110,145
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,754,115	116,703	—	—	3,870,818
計	12,293,420	2,880,211	2,628,524	2,178,807	19,980,963
セグメント利益	2,613,878	91,204	291,887	647,043	3,644,014

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	9,952,581	384,797	10,337,378	26,447,524
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	52	52	3,870,870
計	9,952,581	384,849	10,337,431	30,318,394
セグメント利益	159,373	34,619	193,993	3,838,007

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、フランス、ルーマニア、エジプト、イタリア、オーストリア
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾、ベトナム

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,838,007
セグメント間取引消去	△300,924
本社一般管理費（注）	△1,428,203
四半期連結損益計算書の営業利益	2,108,879

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	4,501,852	-	4,501,852
製パンライン等	4,968,983	-	4,968,983
修理その他	3,470,769	-	3,470,769
仕入商品	234,958	-	234,958
その他	30,506	-	30,506
食品等	-	6,484,143	6,484,143
顧客との契約から生じる収益	13,207,068	6,484,143	19,691,211
外部顧客への売上高	13,207,068	6,484,143	19,691,211

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	5,405,825	-	5,405,825
製パンライン等	6,507,067	-	6,507,067
修理その他	3,787,421	-	3,787,421
仕入商品	363,293	-	363,293
その他	46,539	-	46,539
食品等	-	10,337,378	10,337,378
顧客との契約から生じる収益	16,110,145	10,337,378	26,447,524
外部顧客への売上高	16,110,145	10,337,378	26,447,524

(重要な後発事象)

該当事項はありません。